



第 35 号

発行
漆山地域
コミュニティ協議会



令和3年度を振り返って

漆山コミュニティ協議会 会長 黒川 千尋

令和3年度も昨年度に引き続き、コロナウイルスの変異株が次々と現れ、いくつもの行事を中止にせざるを得ない厳しい一年でした。特に昨年末からの第6波では、感染力の強いオミクロン株の猛威に、この地区も小中学校・保育園が休校・休園になる等コロナの脅威を身近に感じる事となりました。

コミ協の活動としては、コロナ禍で活動を制限された部分もありますが、各部会とも工夫を重ねながら地域の活性化に繋がる活動に取り組めたのではないかと考えております。部会の活動も、今迄は産業文化部会・スポーツ教育部会・健康増進部会・環境防災部会の四部会でしたが、年度初めの総会で組織の再編が行われました。今迄独立した会計・組織として活動していた漆山社会福祉協議会が解散し、コミ協の一部会として社会福祉部会の名称になり活動することになりました。漆山社協として活動していた時と、その内容が大きく変わるものではありませんが、組織の形がシンプルになった事でコミ協全体で取り組む意識の高揚にもつながるのではないかと考えております。その社会福祉部会が取り組んだ活動と

して、「地域のお茶の間」があります。以前「お茶の間」が開催されていた時期もありますが、10月から中組、漆山でスタートし取り組んできたところです。地域の交流の場として定着していただける事を期待したいと思います。

令和4年度からは7年目に入る「なじらね健康教室」・地域のスポーツ大会・漆山の歴史を読み解く会等々各部の取り組みもコロナの状況を見ながら、更に活力ある地域づくりのために活動して下さることを期待しております。また、環境防災部会にはWithコロナの時代に即した防災避難計画についても活動を進めて行かれることに期待しております。

新聞や市報などにも紹介されていましたが、少子高齢化の中、公共施設を今のまま維持していくことが困難であるとして、施設再編の構想が練られている所です。地域の小学校、保育園、公民館、体育館、かすがい荘等々地域にとっては拠り所となり、地域活動の拠点となる施設です。利用度や老朽化という尺度だけでは測れない部分があるという地域の声を、行政に届けていく必要があると思います。

今年度から『地域福祉計画・地域福祉活動計画』の第三期がスタートしております。「ともに助け合い、支えあい、交流を大切にする漆山」とスローガンを掲げ、交流の場づくり、防災意識と災害時の地域力を高め、地域を支える人づくりが来年度も活発に取り組まれていくことを期待したいと思います。

◇漆山地域の人口：3,336人（男：1,631人 女：1,705人）◇世帯数：1,174世帯（令和4年2月末現在）

(注) 上記の人口・世帯数は、住民基本台帳（新潟市・区役所・町名別）より抜粋していますが、河井地区には潟頭地籍の住所地が複数軒あるため、実際の人口や世帯数より少ない数字となっています。

令和4年度 漆山地区自治連絡協議会 定期総会

今年もコロナ感染症の影響等で令和4年度漆山地区自治連絡協議会の定期総会が、書面表決で行われました。

議案は右の通りであり、各自治会長からの回答結果を集計いたしました。

番号	議案	賛成	反対
1号議案	令和2年度事業実績報告・収支決算報告	26	0
2号議案	令和3年度事業計画(案)・収支予算(案)	26	0
3号議案	令和3年度役員(案)	26	0

その結果、評議員全員(26名)が各議案に賛成であり、すべて可決されました。

就任挨拶



漆山地区自治連絡協議会
新会長
齊藤 春敏

今回の漆山地区自治連絡協議会総会(書面評決)において、会長に選出された西下組自治会長の齊藤春敏と申します。

何分にも不慣れなため、地域の皆様方や関係各位様にご迷惑をおかけすることもあると存じますが、懸命に任期を私なりに全う致しますので宜しくお願いいたします。

さて、世の中はコロナウイルス感染症拡大やロシアによるウクライナへの軍事侵攻が勃発して、私たちの暮らしに暗い影を落としつつあります。

そんな中でも、当協議会は地域の各自治会とコミュニケーションや連携を密にして少しでも暮らしやすい地域づくりに貢献したいと思います。

退任挨拶



漆山地区自治連絡協議会
前会長
荒川 均

副会長1年そして会長1年、まさにコロナ禍、自治会活動にも制限がかかるなか総会や研修会等の集会や各種事業を自粛せざるを得ない2年間でした。

就任時に掲げた当協議会の在り方や見直しについては、幾度も役員会で議論を重ねていただきましたが、コミュニティ協議会への編入を含め次年度以降の継続議案となりました。

新役員の皆様にはさらに議論を積み上げていただき、当協議会がより活性化され時代に適応した組織になることを願い、退任のあいさつと致します。有難うございました。

漆山地区自治連絡協議会 決算書・予算書

令和 3 年度決算書 (R2.12.1~R3.11.30)

収入の部

(単位:円)

項目	予算額	決算額	差異	説明
繰越金	1,996,475	1,996,475	0	前年度より繰越
賦課金	1,525,600	1,504,860	△ 20,740	972世帯より賦課金として徴収 均等割 15,000 (自治会下組 10,000) 世帯割 (200 寄付金 500 コミュニティ協議会 500)
雑収入	10	16	6	預金利息
合計	3,522,085	3,501,351	△ 20,734	

支出の部

(単位:円)

項目	予算額	決算額	差異	説明
会議費	194,000	88,780	△ 105,220	役員会、自治会会議弁当、会議お茶代に充当
事務費	50,000	22,473	△ 27,527	コピー用紙 インクカートリッジ ゴム印他
役務費	190,000	190,000	0	三役手当 (会長・副会長・事務局長他)
交際費	0	0	0	コロナ感染症の影響で関連行事が中止となったため
寄付金	494,000	486,000	△ 8,000	漆山小学校: 484,500円 (500円×972世帯)
負担金	66,000	0	△ 66,000	
研修費	0	0	0	コロナ感染症の影響で研修会中止
助成金	0	0	0	
事業費	20,000	20,000	0	ピオトープ水管理費: 20,000円
雑費	0	0	0	
コミ協繰出	494,000	486,000	△ 8,000	コミュニティ協議会会費: 500円×972世帯 486,000円
通信費	17,600	4,200	△ 13,400	
予備費	1,996,485	1,982,300	△ 14,185	各自治会へ 災害準備資金として配当
次期繰越	0	221,598	221,598	次年度へ繰越
合計	3,522,085	3,501,351	△ 20,734	

※ 収入の部・支出の部共に差異は、予算額-決算額で算出

令和 4 年度予算書 (R3.12.1~R4.11.30)

収入の部

(単位:円)

項目	令和4年予算	令和3年予算	差異	説明
繰越金	221,598	1,996,475	△ 1,774,877	
賦課金	1,026,700	1,525,600	△ 498,900	別紙: 2022 (令和 4) 年 賦課金及び資金使途明細
雑収入	10	10	0	預金利息
合計	1,248,308	3,522,085	△ 2,273,777	

支出の部

(単位:円)

項目	令和4年予算	令和3年予算	差異	説明
会議費	194,000	194,000	0	会議弁当、会議お茶代他
事務費	50,000	50,000	0	コピー用紙・インク代・ カートリッジ・ゴム印等
役務費	150,000	190,000	△ 40,000	役員報酬ほか
交際費	30,000	0	30,000	
寄付金	490,500	494,000	△ 3,500	小学校への支援金 (500円×981)
負担金	66,000	66,000	0	巻地区自治連合会会費 (3,000円×22自治会)
事業費	120,000	20,000	100,000	ピオトープ管理、防犯研修 会・地域活性化研修会ほか
雑費	50,000	0	50,000	
コミ協繰出	0	494,000	△ 494,000	コミ協会計に移行
通信費	20,000	17,600	2,400	
予備費	77,808	1,996,485	△ 1,918,677	
合計	1,248,308	3,522,085	△ 2,273,777	

※ 収入の部・支出の部共に差異は、予算額-前年予算額で算出

令和 4 年度 漆山地区 自治連絡 協議会役員

会長	齊藤 春 敏	西下組自治会長	新任
副会長	黒川 忠 行	七の丁自治会長	新任
監事	間宮 喜久丸	並岡自治会長	新任
監事	里村 俊 夫	八の丁自治会長	留任

幹事	富山 雅 行	桜林自治会長	留任
幹事	高井 二三四	十二原自治会長	留任
幹事	曾山 昌 昭	庚午団地自治会長	新任
幹事	番場 正 志	河井自治会長	留任
幹事	小林 功	巻東町自治会長	留任

漆山地域
コミュニティ協議会
主催

西蒲区コミュニティ交流会を 漆山公民館で開催

3月11日漆山公民館講堂において、西蒲区の9コミュニティ協議会の会長や事務局長や来賓に西蒲区長などを迎えて、講演会と意見交換会を開催しました。

奇しくも、3月11日は11年前に東日本大震災が発生した日でもありました。

第一部の講演会では、日本気象予報士会 新潟支部の丸山俊朗氏より約2時間お話をさせていただき、自然災害の発生や防災について説明がありました。特に地球温暖化と新潟県の気象変動の説明には参加者が関心を寄せました。



第二部では、講演会の感想や各コミュニティ協議会で行っている防災対策や課題等を発表してもらい、意見交換を行いました。

防災対策が比較的順調に進んでいるところと、遅れているところがありましたが対策の必要性については、同一の認識が図られました。

コロナ感染症の拡大が西蒲区でも広がり、開催が心配されていましたが無事終了することが出来ました。



漆山地域コミュニティ協議会
に対するご質問やご意見
をお聞かせください。

◎ 問合せ … 漆山地域コミュニティ協議会

TEL・FAX 0256-73-2660

〒953-0061 西蒲区馬堀6001-56(漆山公民館内事務局)